

September, 10, 2025

一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会

万博の先へ、関西インバウンドとショッピングツーリズムの未来を描く

「JSTO セミナー in 関西」開催

一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会(JSTO)関西支部は、「あべのハルカス」にて「JSTO セミナー in 関西」を2025年10月3日に開催します。本セミナーでは、「大阪・関西万博後のインバウンドとショッピングツーリズムの可能性」をテーマに、観光・小売・研究の第一線で活躍する専門家が登壇し、万博閉幕を間近に控えた関西の観光と買い物の未来を多角的に議論します。

▼参加申し込み https://jsto.or.jp/news/jsto-seminar_kansai20251003/



JSTO セミナー in 関西

1部 基調講演
大阪・関西万博後の関西のインバウンド戦略
国土交通省近畿運輸局 ※登壇者調整中

2025.10.3 [金] 15:30-17:00 参加無料 会場：あべのハルカス25F
※17時～名刺交換会

2部 パネルディスカッション
万博後のショッピングツーリズムを考える
登壇：①株式会社阪急阪神百貨店 白井康之氏
②インバウンド研究所 劉賞美氏
③タワーナイズ大阪 ビヨン・ハイバーク氏
コーディネーター JSTO訪日市場チーフアナリスト 神林淳

開催概要

日時:2025年10月3日(金)15:30～17:00(15:00 受付開始、17:00 名刺交換会)

会場:あべのハルカス 25 階 会議室 F(大阪市阿倍野区)

参加費:無料(どなたでもご参加可能)

主催:(一社)ジャパンショッピングツーリズム協会 関西支部

協力:株式会社近鉄百貨店

プログラム

第1部 基調講演(15:30～16:00)

テーマ:大阪・関西万博後の関西のインバウンド戦略

講師:近畿運輸局(登壇者調整中)

第2部 パネルディスカッション(16:00～17:00)

テーマ:万博後のショッピングツーリズム展望

登壇者:

白井 康之 氏(株式会社阪急阪神百貨店 海外顧客業務グループ総支配人)

劉 賞美 氏(インバウンド研究所 所長)

ビヨン・ハイバーク 氏(タワーナイズ大阪 代表)

モデレーター:神林 淳(JSTO 訪日市場チーフアナリスト)

登壇者プロフィール



白井 康之 氏

2001 年阪急百貨店入社。2019 年には中国・テンセントと連携し、日本初の微信支付対応百貨店を実現。2023 年度の阪急阪神百貨店免税売上高は 802 億円（うち阪急本店は 638 億円）と業界をリード。「日本の価値」を高め、地域ブランド強化を推進する。



劉 賞美 氏

大阪生まれの在日中国人 3 世。2002 年より中国人観光客の受入事業に携わり、以後インバウンド関連の企画・広報に従事。現在はインバウンド研究所の所長として「外国人目線」に基づくマーケティング戦略を展開。



ビヨン・ハイバーグ 氏

カナダ出身。2012 年大阪・新世界に刃物専門店「タワーナイブズ大阪」を開店し、後に東京スカイツリータウンへも出店。日本の刃物文化と職人技を国内外に発信。



神林 淳

1963 年生まれ。東武百貨店にてバイヤー、マネジャーを歴任後、2016 年より JSTO に参画。訪日客の購買行動やマーケット分析を担当し、政府機関との連携によるインバウンド促進策を数多く推進。

参加方法

- 申込フォームにて「氏名・会社／所属・メールアドレス・業種・JSTO 会員/非会員」をご記入の上、お申込みください。
- 登録後、自動返信メールが届きます。未着の場合は事務局までご連絡ください。TEL:03-6435-9116
- セミナーは現地開催のみ、当日 15:00 より受付開始となります。

開催趣旨

本セミナーは、JSTO 関西支部設立 10 周年の節目にあたり、万博という歴史的契機を踏まえて「その後の関西」におけるインバウンド観光とショッピングツーリズムの新たな可能性を探ります。

日本ならではの、関西ならではの価値をいかに伝え、観光と買い物を融合させるか。来るべき未来に向けた戦略を業界横断で共有する場となります。

お問合せ先

一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会 (JSTO) 事務局
ショッピングツーリズム推進部 中野・高・池田

Mail: support@jsto.or.jp

TEL: 03-6435-9116